下関市菊川町で和牛の現地採卵が実施されました。

下関農林事務所畜産部
平成23年１月13日

下関農林事務所畜産部では、農林総合技術センター畜産技術部と協力して、農家が所有する優秀な和牛雌牛から受精卵を現地で採取し、地域で活用する取り組みとを、受精卵移植の推進を併せて実施しています。

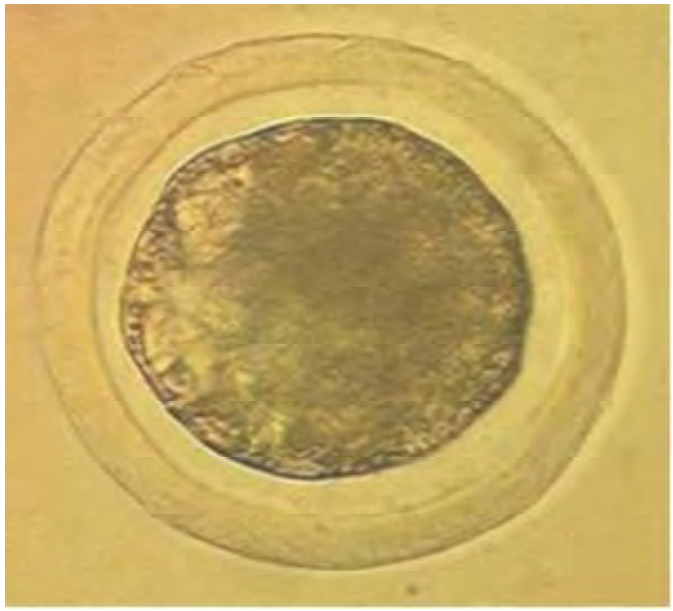
平成22年12月13日、下関市菊川町の肉用牛繁殖農家で、現地採卵を実施しました。昨年度から数えて下関市内では３例目、県域では５例目の実施となります。

この取り組みにより、高い能力の子牛が一斉に多数生まれる可能性があり、肉用牛の早期改良、増殖、農家の所得向上などの効果が期待されます。

また、市内では、若手肉用牛農家の間で、現地採卵した受精卵を酪農家との連携によって、乳用牛に移植し、活用しようとする動きが見られており、グループ作りによる活動が開始されつつあります。

下関農林畜産部では、肉用牛改良、増頭に繋がるこのような地域の取り組みを拡大させていきたいと考えています。

農家の牛舎内で採卵



牛の受精卵